

とんがらし通信



俺のハート🔥

刻むぜビート！！

No.274

～主な内容～

- ・施設長コラム
- ・活動紹介
(表現展、達紀さんレク ほか)
- ・研修報告
- ・CLOSE UP ・職員コラム ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2025年 3月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



賢治さんが遺してくれたもの の巻

…とうとうこの日が訪れてしまいました。。 3月4日、もみじグループの櫻井賢治さんが逝去されました。享年48。早すぎるお別れでした。

昨年6月、何とはなしの体調不良が数日続いたため病院を受診したところ肝臓がんの診断でした。てんかん発作が強く、幼少期から発作止めの服薬が欠かせない賢治さんでしたから、肝臓にも相当な負担がかかっていたのかもしれませんが。すでにステージ4で、余命は数か月。効果とリスクを考えると手術や放射線治療は難しい段階でした。そんな状況にご家族は、苦しい治療ではなく残された時間を賢治さんらしく豊かに過ごさせてあげたいと、在宅での生活を選択されました。これまでも多くの利用者さんを見送ってきましたが、賢治さんの訃報は私にとってとても大きな動揺と喪失感をもたらしました。

賢治さんと私はつどいの家の同期でした。賢治さんが養護学校の高等部を卒業してつどいの家の小規模通所施設に通い始めた同じ年に、私も福祉大を卒業して同じ小規模施設に入職したのです。以来約30年…私の異動で直接的な関わりのない時期もありましたが、付かず離れずの関係の中でも賢治さんの人間的な魅力にすっかりやられちゃってました。小規模時代の若いころは、身軽にひょいひょいといろんな場所に出かけて、一緒にいろんな経験をしました。施設の職員ではなくヘルパーとしてご自宅にお邪魔して入浴の支援をしていた時期もありました。異動で再び仙台つどいの家に戻って来てからは、時々事務室に給食を食べに来てくれるのが楽しみでした。。そうそう。横浜にある『訪問の家 集』のお祭りに利用者さん・職員数名でお邪魔した時には、賢治さんを驚かせようと出張先から駆けつけたりしたこともあったっけ。。そして一昨年には養護学校時代からの親友だった品田さんとスカイツリーに出かけると聞いて、お休みをとってついて行っちゃったり。。賢治さんとの楽しい思い出は山ほどあります。

思い出と言えば。病気の発見をきっかけに、グループホームを引き上げて在宅での生活に戻った賢治さんは、2か月ほどは体調のよい日を見計らって通所してきてくれました。その期間には大好きなお寿司を食べに品田さんと共に塩釜に出かけたり、夏まつりやコンサートに参加することもできました。しかし8月末になると通所がだんだん難しくなり欠席することが増えてきます。利用者さん・職員数名でおうちにお邪魔できないかご家族にお伺いしたところ、快く迎えていただきました。体調にも波があり、往診や訪看など頻りに人の出入りがある中で、ましてやご家族での貴重な時間にお邪魔することに心苦しさを感じましたが、みんな何とか賢治さんとながっていたい気持ちでした。こうして1週間～10日に1回程度、誰かかれかがお邪魔する日々が始まりました。はじめは『お見舞い』のように小一時間をお話したり活動の動画を観たりして過ごす程度でしたが、次第につどいにいるみんなと短時間でも一緒に同じ活動ができるように、グッズを持ち込みオンラインで繋いで…と進化していきました。眠かったりだるかったりする日もありましたが、つどいの家からの利用者さん・職員の呼びかけに、ディスプレイをじっと見たり手を揺らして応えてくれることもありました。亡くなる4日前にはみんなと一緒にトーンチャイムで演奏会もできました。あの時、確かにみんなの心が一つにつながっているのを実感できて、私はとても幸せな気持ちでした。おそらく、賢治さんも。。

これまで見送ってきた利用者さんたちは、そのほとんどが急なお別れや長期入院を経てのお別れでした。今回賢治さんの病気が分かったときに、大きなショックや動揺の中で、『残された時間を賢治さんらしく豊かに過ごす』というご家族、あるいは賢治さん自身の思いをどうやって実現していくのかを、利用者さん・職員みんながそれぞれに考えたと思います。これで合っていたのかは分かりません。。でも、この8か月を共に過ごした利用者さん・職員に賢治さんが遺してくれたものはとてつもなく大きなものでした。

くるくると変わる表情で気持ちをたくさん伝えてくれた賢治さん。

コーヒーとお寿司が大好きで、いろんなお店にお出かけしました。

あなたを失った哀しみは簡単には癒えるものではありませんが、あなたと過ごした時間を決して忘れません。

(令和7年3月4日仙台つどいの家 一同)

ありがとう、賢治さん。。合掌 (管理者 山口 収)



表 現 展

2月6日～14日にイオン幸町店2階連絡通路にて表現展を開催しました。

今回の表現展の目玉となった作品は、仙台つどいの家のメンバー総勢48名による共同制作のタイルアートです。12月に実施した“アートの日”という活動にて全グループ合同で作成しました。タイルに見立てた正方形のパネルに一人一人が自由に表現し、それを一枚の模造紙に貼って一つの作品に仕上げています。

食べたいもの、大好きな人、行きたい場所など夢の詰まった写真やイラストを貼ったり、様々な画材を使用して心の赴くままに絵を描いたり、お気に入りのものや思い出の品を貼り付けたり、それぞれの表現方法で48人の心を映した色鮮やかな作品に仕上がりました。

その他、各グループの活動で作品を作り、絵画や写真から立体作品まで様々な個性の光る作品を多数展示しました。

アンケートノートに地域の方々からコメントをいただいていたので一部紹介させていただきます。

- ・「楽しみにしていました。じっくりお一人お一人の絵画、書、写真を見せて頂きました。エーッ！！どうやってこんな風に描けるの～と思って、説明を読むとお一人お一人の特徴が感じられ、うれしかったです。ありがとうございます。」
- ・「色彩感覚がとてもいいと思いました。皆さんの笑顔もステキですよ！」
- ・「寒い日ですが、春の訪れを感じさせるような、あたたかい作品が沢山展示してあって、心があたたまりました」

足を運んでくださった皆様、ご協力いただいたイオン幸町店様（展示場所提供）、幸町中学校様（パーテーション貸出）、ありがとうございます。

（記：菅原）



『病気は外！ 幸運は内』

今年度もイオン仙台幸町店さんから連絡がありました。「イオン幸町店の社員と合同レクリエーションをまたやりませんか？」というお話でした。恒例行事とはいえ、感謝感謝！です。

今回も「創作に使う文房具や物品、豆まき用の豆などを提供しますので言ってください」というありがたいお話まで頂きまして、取り揃えることができました。いつもありがとうございます！

さ～て今年はどうなレクリエーションしようかな？色々考えましたが、昨年同様で鬼の面を各グループで創作してもらいました。それぞれの味のある鬼の顔やこん棒、鬼の角を作ってくれました。出来上がった鬼の面をイオンの社員さん方に装着・・・(笑)そして、各グループを回ってもらいました。利用者さんたちは「病気は～外！ 幸運は～内」と小さなプラスチックボールをここぞとばかりに力を込めてぶつけてました。。利用者さんたちも、イオンの社員さんたちも、みんなで笑顔(^ ^)になりました！

今回もイオン幸町店のみなさんには大変お世話になりました。最高の地域交流となりました。また、機会があれば是非一緒に合同イベントをしたいと思います。ありがとうございました。

そして、毎月11日に開催して頂いているイエローレシートキャンペーンでは、イオンに買い物に来られた多くのみなさまにたくさんのレシートを頂戴しありがとうございます。私たち仙台つどいの家はたくさんのみなさんに応援いただいていることに感謝いたします。

そして、毎月11日に開催して頂いているイエローレシートキャンペーンでは、イオンに買い物に来られた多くのみなさまにたくさんのレシートを頂戴しありがとうございます。私たち仙台つどいの家はたくさんのみなさんに応援いただいていることに感謝いたします。(記：有住)



達紀さん企画レク

達紀サンタがやってきた！

ちょっと前の話になりますが…仙台つどいの家に達紀サンタがやってきました…！！

クリスマス当日に達紀さん主催のレクを開催することが決まってから、全体の流れやみんなを驚かす登場の仕方、どうすれば達紀さんがみんなとつながることができるかなど、達紀さんははじめもみじのメンバーで色々準備を重ねてきました。レク当日、素敵なサンタの衣装に着替えると達紀さんは自分が主役だとちゃんと分かっていて、始まる前から満足げな表情を浮かべていました。

豪華なトーマスのそりに乗ってみんなの前に登場した達紀サンタは廊下を練り歩き、みんなに達紀さんへのメッセージをそりに貼ってもらいました📄達紀サンタはみんなからのメッセージでいっぱいになっていくそりを見て、とても嬉しそうなお表情を見せてはたくさん拍手をしていました。最後に達紀サンタから素敵なお菓子のプレゼントがあり、みんなも嬉しそうに受け取っていました。最後はみんなで「メリークリスマス♪」と写真を撮り、レクは大成功で終わることができました。

達紀さんが一段と大きな口を開けて笑っている姿やみんなが笑顔で達紀さんを囲んでいる姿を見て私まで嬉しくなり、思い出に残るクリスマスを過ごすことができ良かったなあと思いました…。(記：芽依)



るーぷる仙台バスツアー



けやきグループの智子さん、司さんと職員2名で、るーぷる仙台に乗ってきました。るーぷる仙台は市内の観光地を巡回するバスで、普段見かけるバスとは違い、レトロな内外装を楽しむことができます。始発点である仙台駅に到着すると、既にバスを待つ人たちの列が！インバウンド恐るべし…。到着すると乗務員さん



さんが声を掛けてくれ、優先席を上げ車イスのスペースを確保してくださいました♪

乗車すると満員状態。ごきげんな様子で外の景色を眺める智子さんとは裏腹に、人の多さに圧倒される司さん。緊張し表情が固くなっています。仙台城跡まで着くと多くの方が下車し、車内に余裕ができてきました。すると司さんの表情も穏やかになり、バスの揺れに大笑いす



る様子も(^)智子さんも楽しみな声を出しながら、身体を揺らしていました。1時間ほどかけて市内を一周し、バス旅はおしまい。お次はヨドバシカメラの鎌倉パスタで昼食タイム♪

美味しい生パスタはもちろん、なんとパンが食べ放題で、食べる事が好きなおふたりには大満足なランチなのでした。帰り道は今日1日を思い返すようにニコニコな智子さんと司さん。次回は途中で降りて、観光地も楽しみたいですね！

(記:熊谷)

けやき女子会 ~温泉編~

毎年恒例になっているけやき女子会！今回はどこに行こうかと話し合い、けやきの皆さんが好きな温泉へ行ってきました。



錦ヶ丘にある「愛子天空の湯・そよぎの杜」へ、けやき女子の智子さん、奈美さん、智香さん、有さん、美奈さんの5名が行ってきました。出発前から「温泉」という言葉が聞こえると、皆さん笑みが溢れ、温泉が好きなことや楽しみにしていることが伝わってきます。向かう車内でも、有さんは「おんせん」「らーめん」などと楽しみにしていることを言葉で教えてくれました。ニコニコ笑顔で館内に入り、早速温泉に入ると、それぞれ思い思いに湯船に浸かり楽しんでます。肩まで温泉に浸かりのんびりとし、露天風呂で外の空気を吸いながら気持ちよく温泉を楽しみました。お待ちかねの昼食では、お風呂の後、喉が渴いていたのか皆さんジュースをゴクゴクと飲み干していました。ラーメンや蕎麦、海鮮

丼などそれぞれが好きなメニューを選び会話を楽しみながら食べています。デザートまで食べ終わり、お腹も満たされ、心も体も温まりました。顔なじみのメンバーで行った温泉女子会、安心した表情でのんびりとリラックスして帰りました。

(記:早坂)



権利擁護委員会研修 ～身体拘束について～



みなさんは「身体拘束」にどんなイメージを持っていますか？

仙台つどいの家権利擁護委員会主催で「身体拘束」について話し合いをしました。

令和6年度から権利擁護委員会は「権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化委員会」という名称になり、身近に行われている身体拘束について話し合う機会を設けました。

身体拘束とは「本人の行動の自由を制限すること」で、利用者の身体を強く抑え込んでしまうのをイメージする方も多いかもかもしれませんが「車椅子から落ちないようにベルトをする」「転ばないように手をつなぐ」など日々の支援で当たり前のようにあることも実は拘束に該当するのです。しかし、それがないと怪我や事故を起こしてしまう可能性があり、無くすことは不可能に近いと思います。

今回の研修で確認したこと身体拘束の三要件です。

- ・本人や他の方の命・身体・権利が危険にさらされている「切迫性」
- ・行動制限を行うしか代替する方法がない「非代替性」
- ・身体拘束が永続ではなく一時的である「一時性」

やむを得ない理由で身体拘束をする上で上記の三要件が必要となります。

また今回の研修で「なぜその支援をしているのか他人に説明ができるか」という言葉が印象に残りました。日々当たり前のようにあることですが、なぜベルトをするのか、なぜ手を繋ぐのか、身体拘束はご本人の身体を守るためになくしてはならないものかもしれませんが、当たり前のようにせず本当にこのやり方が良いのか考えて行く必要があるかもしれません（記：松原）

知的障害者福祉協会日中活動支援部会全国大会 に行ってきました～！

令和7年1月29日、30日に埼玉県大宮市で開催された日本知的障害者福祉協会主催の日中活動支援部会全国大会関東地区埼玉大会に菅原、齋藤が参加してまいりました。1日目は「令和6年度の報酬改定の背景について」「報酬改定が施行されてからの生活介護事業はどう変わったのか？そしてこれからの生活介護事業はどうあるべきか？」についての講演でした。

2日目は第1分科会に参加しました。「～ご本人が望み、役割を持つ。本人中心の日中活動とは～」をテーマに山形県と熊本県の法人の方より、事例を挙げてお話しいただきました。

今回2日間全国大会という場に参加させていただき、とても貴重な経験ができました。北海道から沖縄県までの日本全国から集まった方々とその地域特有の貴重なお話など、情報交換することができました。講演内容や交換した情報を参考に、これからの日々の支援に生かしていきたいです。参加させていただき本当にありがとうございました。

（記：齋藤）

Close-up!

ささきたけお 佐々木健郎さん

健郎さんは、けやきグループに所属し、居室前でみんなを優しく出迎えて下さる笑顔の素敵な方です。

恥ずかしがり屋さんで、居室へ一緒に入る時は職員と手を繋ぎ、ドキドキした表情で椅子に腰かけ活動に参加しています。

しかし、そんな健郎さんには特技があります！それは、何と『ぐるぐるブレイクダンス』!!!ご自分に視線が集まると、緊張してそわ

そわしてしまう健郎さんですが、テンションが上がり上機嫌になると、床に体を預けそのまま背中を下にした状態で体を上手にスピンし、勢いよく『ぐるぐるぐる!!!』と回って見せてくれます。職員が「いえーい！健郎さんいいね！」と声を掛けると健郎さんは「うう」と力を溜め、「えーい！」更に加速し、周りの雰囲気や場を盛り上げてくれます*

恥ずかしがり屋さんな一面がありながらも、みんなと盛り上がり、笑顔で楽しく過ごす時間はとても大切です。いつも素敵な時間を下さってありがとうございます。これからも、健郎さんの素敵な『ビックスマイル(≧◇≦)!!』で元気をみんなに分けて下さいね～！
(記：榛香)

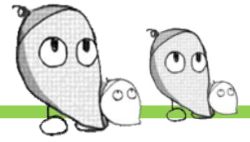


職員コラム

今回は！厨房の

さとう 佐藤ゆき子さん

私が学生時代交通事故に遭い入院していた時、Dさん(50代男性)が入院してきました。病名は筋萎縮性側索硬化症(ALS)。すでに瞼は下がってきて口調も呂律が回らなくなっていました。進行していく病への不安から夜中に大声を出したりしていましたが、それよりもDさんは私にとって厄介な存在でした。何故ならカタギの人ではなかったから……。定期的に人が集まり、その度に各病室の丸椅子は供出させられ物々しい雰囲気になります。そんな時は駐車場も黒ずくめの車で満車。そんなある日の深夜、トイレ前でDさんとバツタリ出くわしたのです。軽く会釈をして直ぐ立ち去ろうとした瞬間「なあ姉ちゃん!今よりもっと勉強して俺の病気治してくんねえか、なあおい！」とDさんは鋭く睨みながら言い放ったのです。突然の事で何と言ったらいいいのか分からず「すみません。ごめんなさい」と言うのがやっとでした。それからしばらくしてDさんは大きい病院へ転院して行きました。あれから何十年もの時が経ちましたが、今でも忘れられない出来事です。ふと何かのキッカケで思い出しては考え込みあの時何と答えればよかったのだろうと言葉が見つからない私なのです。



スケジュール schedule

令和7年 4月

- 1日(火) 辞令交付式、全体職員会議
- 7日(月) 医療的ケア安全委員会
- 10日(木) 音楽療法① 生け花
- 11日(金) イエローレシート、フードドライブ
- 14日(火) 仙つ権利擁護委員会
- 17日(木) 音楽療法②
- 18日(金) フードドライブ
- 21日(月) 施設懇談会
- 22日(火) ケース会議
- 24日(木) 生け花
- 28日(月) 防災委員会
- 29日(火) 休日開館日



令和7年 5月

- 6日(火) 休日開館日
- 8日(木) 音楽療法① 生け花①
- 9日(金) フードドライブ
- 12日(月) 医療的ケア安全委員会 防災訓練
- 13日(火) 仙つ内部研修
- 16日(金) フードドライブ
- 21日(水) 施設懇談会
- 24日(土) 休日開館日
- 29日(木) 音楽療法② 生け花②



ご協力ありがとうございます ボランティアとして協力して頂いた皆様

(1月11日～3月25日まで)

吉田さん、平さん、日下さん

見学・来訪者など

音楽療法：向井田先生・山崎先生・渋谷先生、生け花：濱谷先生、初任者研修：初美先生、おもいやライフ、見守りケアクレスシェンド、小松島支援学校、弘前学院大学、風の郷工房、ピーススマイル：石道、上原、ソーシャルインクルー：松上・鎌田、PREMO：佐藤、ぺんたす、ブルーム、東北福祉大学、かまどや、tagomaru、ケアラインズ、早坂訪問看護、ヤクルト、マルキ水産、サトー商会、ダスキン、ほまれフーズ、ダイエイミート、あぐり仙台、日本テクノ、東北食材、ホシザキ東北、イオン幸町店、サニースポット、ジェーシーアイ

法人職員：理事長、彩乃、森音、佐吉、飯田、裕絵、加藤、愛里、福地、千葉、藤原、恵雅、針持、櫻井、村上、大累、小原、高杉、健

(ほか多数 以上ご芳名敬称略・順不同)



にこいほっと

けやきグループで活動の振り返りをしていたある日…もみじグループ璃子さんが隣に座っていた今さんの腕をツンツンしたり、引っ張ってみたり、気になる様子。それを見た今さんは嫌がることなく、優しく微笑むのでした。いつもは突然触られると怒る今さんですが…璃子さんにはやさしいのね～！

缶回収

2月分の納品額

合計 3,520円 でした。
ご協力ありがとうございました。



編集後記

暖かい日が増え、春の訪れを感じられるようになってきました。花粉症でない自分には、ハッピーな季節です。おべんとう持って、ピクニックに行きたい！

ただ花粉症は、突然発症することもあるんだそう。。

(記：熊谷)